

アルミ付き紙パック分別回収・リサイクルに挑戦

～地域の環境保全と資源循環を目指した新しい取り組みをスタート～

株式会社オギノ(本社:山梨県甲府市、代表取締役社長:荻野雄二、以下「当社」)は、日本製紙株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:瀬邊明、以下「日本製紙」)と協働し、2026 年 7 月 26 日(日)より 2 か月間にわたり、オギノリバーシティ店(山梨県中央市)において、山梨県内のスーパーマーケットとして初となる店頭でのアルミ付き紙パック分別回収・リサイクルの取り組みを実施いたします。

当社は「食・住・衣を通じて、変化するお客様の日常生活を絶え間なく支え、創造し、豊かにする」を企業使命とし、地域に根ざしたスーパーマーケットとして、環境保全活動に積極的に取り組んでまいりました。この度の取り組みを通じて、さらなる地域の資源循環の拡大を実現し、お客様と共に環境への責任を果たしてまいります。

◆アルミ付き紙パック回収・リサイクル取り組み

項目	内容
期間	2026 年 7 月 26 日(日)～9 月 30 日(水) ※2 か月間の実証実験
場所	オギノ リバーシティ店 リサイクルステーション
方法	店頭に通常のアルミ無し紙パック用回収ボックスに加え、新たにアルミ付き紙パック専用の回収ボックスを設置し、アルミ付き紙パックの回収を行います。 ※分別回収した紙パックは、中間処理業者(安藤紙業㈱)を経由して日本製紙に納入

◆親子で学ぶ環境イベント開催

項目	内容
日時	2026 年 7 月 26 日(日)10:00～16:00
会場	オギノ リバーシティ店 キッチンスタジオ及びリサイクルステーション
内容	① 親子で楽しむ紙パックリサイクル講座～紙すき体験で世界に一つだけのハガキをつくろう！～(事前申し込み制、各回定員あり) ② アルミ付き紙パック対面回収(自由参加):参加特典あり

◆分別回収促進キャンペーン

項目	内容
期間	2026 年 7 月 26 日(日)～8 月 31 日(月)
場所	オギノ リバーシティ店 リサイクルステーション
内容	回収ボックスに紙パックを入れる様子の画像を、特設応募フォームにアップロードしてくださった方の中から抽選で 50 名様に、オギノ商品券 2,000 円分をプレゼント

◆背景：アルミ付き紙パックの「分別の分かりにくさ」が課題に

牛乳パックなどの「アルミ無し」製品には業界自主基準により『紙パックマーク』が表記され、回収後は主にトイレットペーパーなどの家庭紙へリサイクルされます。一方、飲料用など常温流通可能な「アルミ付き」紙パック製品には資源有効利用促進法に基づき『紙マーク』が表記されており、適切な回収ルートを経れば、段ボール原紙や家庭紙へとリサイクルさせることができます。

【課題点】

- ・ マークの違いから店頭における分別方法が分かりにくい
- ・ 回収できることが知られていない
- ・ 市場回収率は 3% 台にとどまっている

（出典：「アルミ付飲料用紙容器のリサイクルフロー調査報告書（2024 年度実態）」

印刷工業会液体カートン部会/株式会社ダイナックス都市環境研究所）

	通常の紙パック（アルミ無し）	アルミ付き紙パック
素材		
識別マーク		

◆意義：お客様と共に進める環境活動

【回収量の向上と資源循環の拡大】

当社は、これまで牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル、アルミ缶など、多くの資源物を店頭で回収してまいりました。今回、新たにアルミ付き紙パックの回収に取り組むことで、さらなる資源循環の輪を広げます。

【お客様との接点創出と環境意識の醸成】

当社が店頭でアルミ付き紙パック回収を実施することで、環境問題を身近に感じていただき、地域社会と一体となったサステナブルな活動のモデルケースとなることを目指します。また、環境イベントや分別回収促進キャンペーンを通じて、正しい分別方法を啓発し、お客様と一体となった環境活動を推進します。

【継続的な仕組みづくりへ】

2か月間の実証実験で得られた回収量や参加状況のデータを客観的に分析します。データに基づく検証を行い、回収ボックスの継続設置や他店舗への展開を検討、さらには新たなリサイクル手法の検討へとつなげます。

当社は、地域社会を支える企業として、今後も日本製紙をはじめとしたパートナー企業と連携し、お客様と共に山梨県全体の循環型社会の実現に貢献してまいります。

以上